

日本台湾学会報

第七号

目 次

論 説

- 日中戦争期における台湾拓殖会社の金融構造 湊 照 宏 (1)
- 台湾の「両性工作平等法」成立過程に関する国際社会学的考察 金戸 幸子 (18)
- 多様化社会建設に向けた国家戦略としてのジェンダー主流化をめぐる—
- 2004年台湾総統選挙分析 小笠原欣幸 (44)
- 陳水扁の再選と台湾アイデンティティー—
- 中台の軍事バランス 松田 康博 (69)
- 中台の安全保障戦略に与える影響—
- 日本統治期台湾文学における「女性」イメージの機能性 張 文 薫 (90)
- 二・二八事件以後の「沈黙」の意味 丸川 哲史 (106)
- 『国声報』『南光』副刊を中心に—
- 「蕃人」・ジェンダー・セクシュアリティ 李 文 茹 (129)
- 真杉静枝と中村地平による植民地台湾表象からの一考察—
- 台湾原住民族作家たちの「回帰部落」とその後 魚住 悦子 (149)

研究ノート

- 癒しの民俗宗教としての台湾キリスト教 藤野 陽平 (166)
- 真耶穌教会を事例として—

講 演

- 社会科学者達よ、ともに台湾史研究に取り組もう！ 柯 志 明 (178)
- (張 士 陽 訳)

2005年5月

日 本 台 湾 学 会